

のみたより

2008
第14号



▲1個ずつ丹精こめて…(能美市特産ゆずジュースづくり)

◆ 定例会報告	2
◆ 討論	4
◆ 一般質問	5
◆ 委員会報告	10
◆ 視察報告	11
◆ 編集後記	12

発行日:平成20年1月29日
発 行:能美市議会
編 集:広報特別委員会

〒923-1297 能美市役所辰口庁舎
石川県能美市来丸町1110番地
TEL:(0761)52-8007
FAX:(0761)52-8022
E-mail:gikai@city.nomi.lg.jp

平成19年第4回

定例会報告 (会期:平成19年12月10日～20日)

平成18年度決算が認定されました

第3回定例会に上程され、2つの決算特別委員会で継続審査となっていました平成18年度能美市各会計決算が認定されました。

一般会計決算

歳入決算額 193億6,208万2,717円
歳出決算額 190億2,706万1,192円
差引額 3億3,502万1,525円

歳入	区 分	金 額(円)	構成比(%)
	市 税	6,936,149,037	35.8
	地 方 譲 与 税	632,151,572	3.3
	利 子 割 交 付 金	22,848,000	0.1
	配 当 割 交 付 金	19,408,000	0.1
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	19,320,000	0.1
	地 方 消 費 税 交 付 金	454,910,000	2.3
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	54,648,700	0.3
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	146,848,000	0.7
	地 方 特 例 交 付 金	172,079,000	0.9
	地 方 交 付 税	4,431,683,000	22.9
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	8,279,000	0.0
	分 担 金 及 び 負 担 金	718,243,316	3.7
	使 用 料 及 び 手 数 料	375,938,517	1.9
	国 庫 支 出 金	1,367,561,086	7.1
	県 支 出 金	752,269,012	3.9
	財 産 収 入	112,288,484	0.6
	寄 附 金	96,980,848	0.5
	繰 入 金	284,193,401	1.5
	繰 越 金	310,318,314	1.6
	諸 収 入	459,265,430	2.4
	市 債	1,986,700,000	10.3
	計	19,362,082,717	100.0

歳出	区 分	金 額(円)	構成比(%)
	議 会 費	215,373,296	1.1
	総 務 費	1,713,212,100	9.0
	民 生 費	5,180,918,766	27.2
	衛 生 費	1,586,591,921	8.3
	労 働 費	3,091,719	0.0
	農 林 水 産 業 費	880,361,536	4.6
	商 工 費	1,250,631,507	6.6
	土 木 費	2,915,393,325	15.3
	消 防 費	494,076,646	2.6
	教 育 費	2,349,596,515	12.4
	災 害 復 旧 費	86,663,600	0.5
	公 債 費	2,337,816,921	12.3
	諸 支 出 金	13,333,340	0.1
	予 備 費	0	0
	計	19,027,061,192	100.0

決算特別 委員会委員

一般会計 決算特別委員会

◎杉田 隆一
○井出 善昭
明福 憲一
北角 耕一
白川 寛
近藤 啓子
北野 哲
北村 國博
嵐 昭夫
福田 豊

特別・企業会計 決算特別委員会

◎金森 修栄
○居村 清二
青山 利明
荒田 正信
高木 雅宣
東 正幸
米田 敏勝
倉元 正順
小手川 正明

◎委員長、○副委員長

組織が変わりました!!

第1回臨時会において、前副議長の東正幸議員の辞職に伴い、米田敏勝議員が新しく副議長に就任しました。あわせて議会運営委員会など委員会の構成も変わりました。

また、第4回定例会会期中に統合庁舎検討特別委員会の委員長に、新しく畑中晃昭議員が就きました。



副議長就任あいさつ 米田敏勝

本年第1回臨時会において、議員各位のご推挙により副議長の職に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しているところであります。

これからの能美市政には諸課題も山積しておりますが、市民に信頼される市議会を目指して、議長を補佐し、副議長としての職責を全うする所存であります。

今後ともよろしくお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

■議会運営委員会 ■常任委員会

議会運営委員会	総務	産業建設	教育民生	広報	統合庁舎検討
◎杉田 隆一	◎倉元 正順	◎北野 哲	◎居村 清二	◎小手川正明	◎畑中 晃昭
○荒田 正信	○嵐 昭夫	○北村 國博	○小手川正明	○嵐 昭夫	○北角 耕一
北角 耕一	荒田 正信	杉田 隆一	青山 利明	井出 善昭	杉田 隆一
畑中 晃昭	畑中 晃昭	金森 修栄	明福 憲一	米田 敏勝	白川 寛
倉元 正順	井出 善昭	北角 耕一	近藤 啓子	北村 國博	倉元 正順
北野 哲	米田 敏勝	高木 雅宣	東 正幸		北村 國博
居村 清二		白川 寛	福田 豊		居村 清二

◎委員長、○副委員長 ※上記以外の委員会には変更ありませんでした。

特別会計・企業会計決算

(単位：円)

	歳入	歳出	実質収支
国民健康保険特別会計	3,860,111,000	3,858,125,981	1,985,019
老人保健特別会計	3,996,965,797	4,042,476,065	※ ¹ △45,510,268
介護保険特別会計(介護保険事業勘定)	2,723,715,182	2,691,750,784	31,964,398
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	5,931,500	4,727,395	1,204,105
公共下水道事業特別会計	3,401,481,581	3,400,084,361	1,397,220
農業集落排水事業特別会計	82,195,234	81,345,574	849,660
温泉事業特別会計	12,063,325	11,053,649	1,009,676
水道事業会計(収益的収支)	735,677,287	788,542,560	△52,865,273
水道事業会計(資本的収支)	571,734,585	827,732,175	※ ² △255,997,590
工業用水道事業会計(収益的収支)	285,332,020	250,743,184	34,588,836
工業用水道事業会計(資本的収支)	183,800,000	349,930,217	※ ³ △166,130,217
市立病院事業会計(収益的収支)	2,438,573,520	2,555,851,550	4,448,266
市立病院事業会計(資本的収支)	237,528,000	434,082,572	※ ⁴ △248,676,916

※¹ 平成19年度老人保健特別会計より繰上充用

※²・³・⁴ 過年度分損益勘定留保資金等により補てん

臨時会が開催されました

11月7日、平成19年第1回臨時会が開催され、「財産の取得について(コミュニティバス車両購入)」が全会一致で可決されました。

審 査 結 果 一 覧

	案 件 名	採決結果
決算案件 (10件) (継続審査)	平成18年度能美市一般会計歳入歳出決算認定について	可決(賛成多数)
	平成18年度能美市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	可決(賛成多数)
	平成18年度能美市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	可決(全会一致)
	平成18年度能美市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	可決(賛成多数)
	平成18年度能美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決(全会一致)
	平成18年度能美市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決(全会一致)
	平成18年度能美市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決(全会一致)
	平成18年度能美市水道事業会計決算認定について	可決(全会一致)
	平成18年度能美市工業用水道事業会計決算認定について	可決(全会一致)
	平成18年度国民健康保険能美市立病院事業会計決算認定について	可決(全会一致)
議案 (7件)	能美市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
	能美市都市計画法施行条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
	平成19年度能美市一般会計補正予算(第2号)	可決(賛成多数)
	平成19年度能美市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
	平成19年度能美市老人保健特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
	平成19年度能美市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
	平成19年度能美市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
請願(1件)	政府に高齢者の医療費負担増と後期高齢者医療制度の中止、撤回を求める意見書の提出を求める請願書	不採択(賛成少数)
議会議案 (3件)	道路特定財源における地方道路整備財源の確保に関する意見書	可決(賛成多数)
	義務制第8次教職員定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決(全会一致)
	取り調べの可視化の実現を求める意見書	可決(全会一致)

討 論

賛 成

倉元 正順 議員

市長は、能美市独自の緊急生活支援策として、国・県に先駆けて灯油の助成および不況対策資金特別融資の実施を決定した。議会として高く評価するものである。

提出議案の一般会計補正予算については、防衛省より交付される再編交付金を活用して関連地区の社会資本整備を実施するものであり、地域の発展と市民の生活の利便向上に寄与するものである。

再編関連以外の補正については、福祉関係では、情報支援機器の整備、認知症安心ネットワークの推進事業の実施、道路関係では市道192号線の消雪工事費、教育関係では3中学校の部活動の大会への出場助成をはじめ小中学校の緊急を要する修繕費等を補正するものである。

次に、各特別会計・企業会計補正予算については増加分等の所要額を追加するものである。

以上、各会計の補正予算については適正な事業執行を行うためのものであり、今定例会に上程された全ての議案に賛成するものである。

反 対

近藤 啓子 議員

平成19年度一般会計補正予算において都市計画費の4,900万円は寺井駅周辺整備事業の基本設計料である。

昨年からのJRとの折衝では、「駅前広場及び橋上駅は大枠で合意し、跨線橋については少し時間がかかる」旨の報告があった。

この整備事業の目的は、「人々が集い、賑わい、魅力的なまちづくり」としてすすめられるものである。駅周辺の活性化

を図る上では、特に地元住民との合意が基本である。米軍再編交付金があったので、急ぎ設計に入るといっているのは、まさしく事業先にあるべきである。

「どんなまちづくりをするのか」十分な議論と合意のもとで行うことが基本であり、今の時点での基本設計料の予算には反対する。



明福 憲一 議員



Q 新年度予算編成の基本方針を示せ

国は引き続き歳出全体に徹底した見直しを図り、削減を行うとし、地方の財政運営も厳しくチェックするとしている。

本市においては様々な施策を講じ対応したが、国の方針また市の状況をふまえると厳しい予算編成が危惧される。

市長の見解を示せ。

A 旧3町の懸案事項進展と重要課題に重点(市長)

国・県の予算編成、施策展開を注視しながら、旧3町の懸案事業の進展を図り、少子高齢化対策や教育の充実など重要課題を柱に重点的な予算配分をしたい。

Q 20年度の保育園入園者数見込みは

少子化時代を迎え、市内保育園では園児数に大きなばらつきがあり、保育に支障が出ている。

現在、検討委員会で適正規模・配置・運営等の検討をしていると聞けが、保育園統廃合に関して市の実情は。

A 現時点で2,052名(市長)

園別では最少20名から最多188名と幅があり、同年齢が1名という園は統廃合を待たずに休園等の措置も必要かと思われ、その際には保護者や地元町会、町内会に理解を求めていく。

検討委員会での協議は終了し、90人未満の保育園を統廃合の対象とし、園数を15程度にしてはこの検討結果と聞く。その結果を尊重しつつ計画的に整備を進めたい。



倉元 正順 議員



Q ふるさと歴史の広場に休憩所や水遊び場を

夏場の厳しい日差しをしのぐ日よけの休憩所を設置したり、子どもたちが水遊びできるような池に水を流し、広場活用の充実を。

また、町会、町内会で管理する公園にブランコ、滑り台等の遊具設置を。

A 敷地の広さや安全面で適さない(教育長)

新たな休憩所の設置は公園の広さから難しい。芝生広場横の管理棟や木々の下で休憩を。

池を水遊び場として提供するには常時流水し、清流の確保が必要となるが、現在は貯水を循環させ流す仕組みである。石の建造物も低い位置で大きく張り出しており、場合によっては解体、修理が必要。子どもたち

ちの水遊びには安全上、また衛生上適さない。

町会、町内会管理の公園遊具に関しては、これまでも助成をしてきたが、遊具の選定に関しては、あくまで町会、町内会で検討いただく。



▲四季を通してにぎわう能美市ふるさと歴史の広場(和田山)

北野 哲 議員



Q 西川の排水対策を示せ

西川は豪雨時には流下量が急増、水田や道路が冠水し福島町や吉原町の水田は排水不能となる。

白山市湊町地内の木製護岸も老朽化が進み、川幅を狭めている。

樋門、強制排水施設の設置、護岸改修の早期着手と並行し、市独自の対策として日本海へ一気に放流する案も検討せよ。

A 白山市と連携を取り、国・県へ要望(市長)

下流域の護岸整備は白山市との調整が必要。白山市との連携を密にしながら樋門整備などの早期着手に向け、関係機関へ粘り強く要望活動を続けたい。

日本海へ直接排出する排水路事

業は、費用対効果、河川整備計画中の樋門新設との整合性、白山市との連携強化の妨げ等、関係機関の対応を見ながら慎重に検討する必要がある。

Q 根上中央児童館と根上こどもの家の安全対策を図れ

根上中央児童館は神社境内という立地条件が問題視されている。

旧保育園を利用した根上こどもの家は室内が狭く天井も低い上、周辺道路も狭い。

移転し、安全対策を図れ。

A 根上中央児童館は移転を検討(市長)

根上中央児童館は保育園統廃合とあわせ、一体的な施設整備の可能性を検討する。

根上こどもの家は財源に限りもあり、今後の検討課題としたい。



北村 國博 議員



Q 能美市への交流人口増大に金沢外環状道路を生かせ

金沢外環状道路山側幹線の全線開通により、各地域から能美市までの移動時間は大幅に短縮された。

交流人口増大のため、山側幹線の要所に市施設等の案内表示板を早期に設置せよ。

A 案内表示板を整備、能美市のPRに努めたい(市長)

適切な位置での案内表示板設置は是非必要である。今後、サイン計画の早期策定を実施し、市内を訪れる人にわかりやすい案内表示板を整備して能美市のPRに努めていく。

Q 能美市民に雇用チャンス拡大を図れ

市内における大手企業等の大型設備投資増設により、雇用拡大や税收増加等の波及効果が期待されている。

市民満足度を高めるためにも、身近な市役所窓口センターに雇用情報等の案内を掲示するなど、積極的に市民に雇用機会の拡大を図れ。

A 就職情報提供やUターン就職の有効手段を工夫する(市長)

市窓口センターに配置しているハローワークからの情報誌を閲覧しやすい場所に置いたり、新たに市内企業の求人情報を提供することも検討していきたい。

今後、市内大卒者の地元企業へのUターン就職への働きかけについても有効手段を模索していきたい。



▲求人情報をわかりやすく

青山 利明 議員



Q 高齢者医療の減免を

後期高齢者医療制度による負担増に市独自の減免制度を。
特定検診受診者の一部負担金を無料にせよ。

A 新制度実施後に検討(市長)

市独自の減免制度については新制度実施後に市の状況を勘案して検討すべき。現段階で考えるのは早いと思っている。

特定検診受診者の一部負担金の額は県内で統一されている。県内各市町の動きを精査し、対応する。

Q 障害者の雇用を促進せよ

市の雇用率を高くせよ。市内事業主に対して雇用への理解を求め、県の各種助成制度の周知、活用を図

るなど、就労移行支援への取り組みを推進せよ。

A 障害者対象の市職員採用試験を検討中(市長)

市や外郭団体の業務で就労可能な職種の洗い出しなど、受け皿づくりが必要。検討課題としたい。就労移行に関しては、各機関と連携をとり支援していきたい。



▲就業率92%の障害者支援センター「すきっぷ」(世田谷区)

畑中 晃昭 議員



Q 行政評価システムを導入せよ

行政評価システムを導入し、毎年市が実施する事務事業の評価やその結果の公表を行うことで、より効果的で質の高い市民サービスの充実につなげよ。

A 実効性あるシステムを検討(市長)

行政評価制度に準拠した目標管理制度を取り入れたり、市民満足度調査を実施するなど、行政評価の有効性、必要性は理解しているが、全国の自治体現場では行政評価制度の課題も指摘されている。

評価自体が目的化しないよう、実効性あるシステムへ研究、検討を重ね、職員のコスト意識改革を含め人材育成にも努めたい。

Q 指定管理者制度(※)の総括を

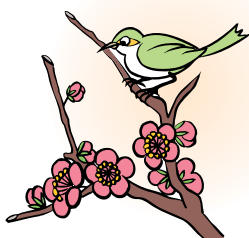
市が指定管理者制度を導入して1年が経過した。総括と今後の課題は。

A 市の仕様に従った管理者の事業計画に則り、円滑運営された(市長)

平成18年度決算における施設管理費は、対予算11.4%の経費削減。19年度もクアハウス九谷の燃料費大幅削減や公社職員適正配置による人件費削減を図っており、徐々に財政効果も出てきていると思われる。

今後も現状を検証しながら、地域の実情や公の施設の設置目的に沿った管理運営に心がけたい。

※指定管理者制度
地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理を、民間法人・NPO法人にもさせることができるという制度。



嵐 昭夫 議員



Q 子どもたちのインフルエンザ予防接種に助成を

医療費の抑制や少子化対策、子育て支援の環として、高齢者対象のインフルエンザ予防接種助成事業を子どもたちへも拡大せよ。

A 助成制度拡大は現在考えていない(市長)

中学3年生までの医療費無料化など少子化対策を大きな柱として実施。子育て支援策については、手厚いサービスを展開しているところであり、高齢者以外の方々に助成制度

を拡大する予定は今のところ考えていない。

Q 太陽光発電システムを設置、環境対策を推進せよ

新エネルギー・産業技術総合開発機構の太陽光発電システムへの助成制度がある。

辰口庁舎や改築工事が始まった辰口中学校に太陽光発電システムを設置、環境対策への積極的な取り組みをアピールせよ。

A 環境意識啓発のため、今後検討していきたい(市長)

辰口庁舎や他のアピール性の高い公共施設への設置について費用対効果も考えながら検討したい。辰口中学校については、設置の代わりに消費電力や灯油使用量を抑える設備とした。

防犯灯のソーラー化についても有効な施設を対象に検討していきたい。



▲風力・太陽光発電装置(物見山運動公園)

小手川 正明 議員



Q 市の慣行の制定、実施を

市の花、木、鳥、歌や市民憲章の制定や、功労者等の表彰制度の実施を。

A 市民・有識者の意見を参考に検討(市長)

市の慣行の制定は、市としての一体性に基づく観点から考慮し、合併3年目の現時点では時期尚早である。今後、市民、議会や有識者の意見を参考に検討したい。

表彰制度についても同様だが、3月に条例を制定しており、今後具体的な運用について検討したい。

Q 全国へ向けて市のアピールを

九谷焼や古墳群などの地域資源を全国に発信せよ。



▲能美市アピールに初の試み ビジットNomi(都内)

A ーTなどを駆使して全国へ発信(市長)

地域資源を連携、有効活用し、先端大学の人的交流やイベント、ーTなどを駆使して全国へ発信したい。

Q カラス対策に取り組め

カラスがたむろしたり、飛来したりする姿は、景観を損ねるとともに恐怖感を伴う。被害状況や対策は。

A 増殖が続けば駆除など試行(環境安全部長)

農作物の食害や糞の被害が出ており、増殖が続くなら対策をとらねばならない。

生ゴミや栄養価の高いものを与えないことや、ねぐらに集まるカラスを追い払う方法、オリの設置や銃器による駆除など考えていきたい。



▲灯油助成券を手に笑顔のお年寄り

近藤 啓子 議員



Q 原油高騰による被害者を
出さない取り組みを

原油高騰に対する市独自の緊急生活支援対策実施に敬意を表する。引き続き市内小売業や病院、福祉施設など影響の実態を調査、相談窓口開設などの対策を。

A 今後も事態に即して、適切
に対処していきたい(市長)

さらなる価格の高騰等、緊急事態に至れば、相談窓口設置も含め、適正、迅速に対処したい。

Q 介護保険料の据え置きを

税制改正により高齢者の負担は増え続けている。介護保険料の激変緩和策による保険料据え置きにより、負担軽減を図れ。

A 20年度も激変緩和措置を
継続したい(市長)

高齢者の負担が増える中で、負担軽減を図ることができるなら、来年度も介護保険料の激変緩和措置を継続したい。

Q 公費での妊婦健診回数増を

妊婦の健診費負担が大きい。厚生労働省の通知にあるように、公費による健診回数を14回に増やすべきではないか。

A 今後の状況を見て検討したい
(市長)

19年7月より妊婦健診助成を拡充した他、妊婦や乳児の一般健診や精密検査も無料で実施している。健診回数のさらなる増加については検討させていたきたい。

福田 豊 議員



Q 地域教育について見解を問う

近年、地域社会とのつながりが弱くなっているという。学校教育において市の特性を生かした地域教育に取り組む考えはあるか。

また、学校にとらわれず、地域全体の体験活動など地域教育への見解は。

A 地域と連携し継続したい
(教育長)

来年度は「ふるさと学習推進事業」を立ち上げたい。また、「夏休みわくわく教室」や「青少年野外活動研修事業」を実施している。

これからも各種団体や地域住民、自治公民館などと連携しながら地域体験活動を継続、展開していきたい。

Q 行政広域化の見解を示せ

地方自治行政には、地域間の結集と広範囲な視点を持った広域行政が今後ますます求められる。

能美市の位置する南加賀での地域的な連携について、今後の展望は。

A 地方分権の時代に、広域行政
推進が大変重要(市長)

広域行政の視点で懸案施策の推進を図ることが究極の行財政改革であり、最大の住民サービスであると思っている。

近隣市町と連携強化しながら、施設の再編ネットワーク化をしていきたい。小松能美都市計画区域からの脱却問題や隣接市との行政委託問題、ならびに共同開発問題等も広域的な観点が必要。関係部局で十分に対応していきたい。



▲土器づくりを体験(夏休みわくわく教室)

総務常任委員会

委員会付託案件 2件

- 能美市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について → 原案可決(全会一致)
- 平成19年度能美市一般会計補正予算(第2号)～所管事項～ → 原案可決(全会一致)

委員会における質疑応答

Q 市の特殊勤務手当の実態は。意欲や能力のある職員に対する待遇面に配慮してはどうか。

A 特殊勤務手当は合併時に整理され、現在は保育士を除き対象はわずかである。今年度から職員の人事評価を試行中であり、運用基準や導入時期について模索中である。

Q 市の遊休土地は現在どれくらいあるか。また今後の対応は。

A 全体の整理はまだできていないが、平成19年度で整備している統合型地理情報システム(GIS)を活用して、市有財産の整理を行い、行政財産や普通財産の区分をしたうえで、20年度で整理、処分を進めていきたい。



▲よりよい市民サービスを目指して

産業建設常任委員会

委員会付託案件 4件

- 能美市都市計画法施行条例の一部を改正する条例について → 原案可決(全会一致)
- 平成19年度能美市一般会計補正予算(第2号)～所管事項～ → 原案可決(全会一致)
- 平成19年度能美市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) → 原案可決(全会一致)
- 平成19年度能美市水道事業会計補正予算(第2号) → 原案可決(全会一致)

委員会における質疑応答

Q JR寺井駅周辺整備事業に係る今回の補正予算について、駅舎の橋上化と跨線橋に限定されるのか。

A JRとの交渉の中での調査費であり、駅周辺整備等は含まない。今後JRとの協議においても、また都市計画決定においても必要なものだけである。

Q 配水管の更新について、今後の計画は。

A 経年劣化の老朽管の更新は順次行方。石綿管については、20年度で全廃を目指していたが、各地区で部分的に残っている箇所があり、今後道路改良工事などにあわせて更新していく。



▲跨線橋より望むJR寺井駅

教育民生常任委員会

委員会付託案件 4件

- 平成19年度能美市一般会計補正予算(第2号)～所管事項～ → 原案可決(全会一致)
- 平成19年度能美市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) → 原案可決(全会一致)
- 平成19年度能美市老人保健特別会計補正予算(第2号) → 原案可決(全会一致)
- 政府に高齢者の医療費負担増と後期高齢者医療制度の中止、撤回を求める意見書の提出を求める請願書 → 不採択(賛成少数)

委員会における質疑応答

Q 妊産婦医療費助成制度はどのような制度か。

- A 妊娠から出産までの間、それらに伴う病気の医療費を助成する市独自の制度。
医療機関で証明をもらい、申請をする。

Q 認知症安心ネットワーク推進事業のねらいは。

- A 認知症の早期発見・予防、認知症への理解を深めることを目的とする。具体的には、徘徊搜索の体制づくりや患者の教室への参加など地域の人が認知症についての的確に認識してもらえるような取り組みを考えている。

Q 緑が丘児童館増築事業の詳細は。

- A 70人以上の大規模な学童クラブは好ましくないとの国の方針から増改築するもの。
200㎡弱の木造、平屋建てで隣接する公園の一

部も入る。今年度中に設計管理入札と工事入札を行い、来年12月頃に完成させたい。



▲大勢の学童でにぎわう緑が丘児童館

視察報告

議会運営委員会

○視察日

平成19年9月27日(木)

～29日(土)

○視察先

北海道栗山町・北広島市

○視察内容

栗山町は人口約1万4千人。

平成19年5月に、平成13年から実践してきた議会改革・活性化策を明文化した全国初の議会基本条例を制定した。

条例の特徴として、住民の生の声をまちづくりに生かす年1回の議会報告会開催の義務化、議員の質問に対する執行部の反問権の付与などが取り入れられており、住民の目線において行動する議会への変革を目指す。

北広島市は石狩平野の中央に位置する。広島県民が入植



▲連日、多数の視察を受け入れる栗山町

し開拓した、人口約6万人の都市。札幌市のベクトタウンとして若年転入が多く、議員活動に対する見方も厳しい一方で、議会運営の活性化に努めている。

議会は執行機関とともに二元代表制の一翼を担う機関として自治体の運営に大きな責任がある。議員の資質向上、議会改革に取り組まなければならないと実感した。

視察報告

西川流域・海岸対策特別委員会

○視察日

平成19年10月4日(木)～5日(金)

○視察先

- ・国土交通省北陸地方整備局
信濃川下流河川事務所
- ・信濃川大河津資料館
- ・国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所

○研修内容

治水対策の歴史と排水施設について

新潟の「西川」は、信濃川から一旦分かれ、再び合流している。合流地点に水門および排水機場が設置されている。設置の背景には、近辺の地盤が全般的に低く自然に水が引きにくいこと、市街地化が進んだことがある。西川の計画水量は毎秒65^mであり、西川排水機場の総排水量と同じである。

資料館は、水害に悩まされてきた下流域の方々の「水」との戦いの歴史を展示。また、大河津分水地点で、新潟市内に注ぐ従来の信濃川の水量を下流域で必要とされている毎秒270^m、もしくはそれ以下となるように調整している。

総括

視察先の地理的条件が、能美市と白山市を流れる西川と極めて似ていることから、新潟の「西川」と同様の問題が多々起こることが考えられる。治水対策には根気とやる気が必要。信濃川下流域が、生活圏として人々の手にあるのは、その努力の結果であり、そのことをふまえて今後も活動していきたい。

◀大河津資料館



▼西川排水機場
(新潟市)



編集後記

11月の臨時会で新副議長に米田敏勝議員が選出され、就任されました。

各常任委員会も新しいメンバー体制でスタートしています。

当広報特別委員会も一部の入れ替えがあり、新メンバーとなりました。

心新たに頑張りますので、よろしくお願いいたします。

さて、激動の平成19年が終わろうとしています(この便りが届く頃は新年ですが)。

企業や政治家、官僚などの不祥事が相次ぎ、何を信じれば良いのかわからない混沌とした時代を迎えています。私生活においてもスピードと利便性は獲得しましたが、心は通わなくなっているように思います。一番大事なのは、人としての誇りと温もりではないでしょうか。人間らしさを失わず、大いに目を見て語り、まる3年を迎えようとしている新生能美市に夢と希望を抱き、市民の皆さんといっしょになって、まちづくりや「のみだより」の充実に努めてまいりますのでご意見、ご愛読をお願いいたします。

(小手川 正明)

広報特別委員会 委員長：小手川 正明 副委員長：嵐 昭夫 委員：井出 善昭 米田 敏勝 北村 國博

